

平成22年5月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年4月12日

上場会社名 株式会社 中北製作所

上場取引所 大

コード番号 6496 URL <http://www.nakakita-s.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中北 健一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役・管理部門管掌並びに経
理部長 (氏名) 大平 文人

TEL 072-871-1331

四半期報告書提出予定日 平成22年4月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第3四半期の業績(平成21年6月1日～平成22年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	17,149	△17.7	1,514	△31.7	1,576	△29.0	884	△4.4
21年5月期第3四半期	20,841	—	2,215	—	2,221	—	925	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第3四半期	46.17	—
21年5月期第3四半期	48.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第3四半期	23,299	17,129	73.5	894.51
21年5月期	26,635	16,824	63.2	878.58

(参考) 自己資本 22年5月期第3四半期 17,129百万円 21年5月期 16,824百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年5月期	—	15.00	—		
22年5月期 (予想)				15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△22.5	1,800	△40.0	1,850	△38.5	1,035	△31.6	54.05

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

なお、詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年5月期第3四半期	19,164,000株	21年5月期	19,164,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年5月期第3四半期	14,376株	21年5月期	14,351株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年5月期第3四半期	19,149,644株	21年5月期第3四半期	19,150,573株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、現時点において入手可能であり、かつ合理的と判断される情報に基づき作成したものであり、世界経済・為替相場変動等の様々な不確定要因により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における世界経済は、リーマンショック以降の世界的な金融危機に対する各国政府の景気対策等により、ようやく景気後退を脱しつつあると見られる状況となっておりまゝ。しかしながら、内需効果により活発な動きをみせる中国やインドなど一部の新興諸国を除くと、欧米諸国の金融情勢は依然厳しく、ギリシアをはじめとする数カ国で財政金融面の不安が懸念される状況もあります。国内経済においても政府の緊急経済対策による需要の喚起により、特に自動車・電機等の一部業界において業績の改善や在庫調整の進展がみられますが、その一方でデフレの進行や為替での円高傾向の定着、雇用情勢の厳しさもあり、先行きのわが国経済の見通しは依然として不透明な状況であります。

このような経営環境にあつて当社は、主要な販売先であります造船業界のみならず、陸上部門においても実績のあるガスタービン用バルブや今後増設が期待できる原子力発電プラント関連の受注について積極的な受注活動を展開いたしました。また、社内生産部門におきましては、原子力発電所向けバルブの専用組立工場を整備し、来るべき受注に備えるとともに、研究開発部門においても新年度からの本格的な活動を目指し、開発室を立ち上げました。しかしながら、最近の海運造船市況の低迷による新規造船商談ストップの影響は大きく、値下げ要請の厳しい受注環境の中では十分な受注を確保することはできませんでした。

この結果、当第3四半期累計期間における受注高は、13,625百万円(対前年同期比25.3%減)と前年同期を大きく下回りました。品種別では、自動調節弁5,168百万円、バタフライ弁4,464百万円、遠隔操作装置3,992百万円となり、金額ベースの対前年同期比で、それぞれ1,585百万円減、1,734百万円減、1,305百万円減でありました。

売上高では、受注品のキャンセルや納期の先延ばしの影響もあり、17,149百万円(対前年同期比17.7%減)を計上しましたが、減少傾向が顕著な結果となりました。品種別では、自動調節弁6,019百万円、バタフライ弁5,762百万円、遠隔操作装置5,367百万円となり、すべて前年同期を下回る実績となりました。したがって、当第3四半期累計期間末の受注残高は前事業年度末に比べて3,524百万円減の19,170百万円となりました。

利益面におきましては、経常利益で1,576百万円(対前年同期比29.0%減)を計上しましたが、売上高の減少傾向により固定費の負担が相対的に重くなる結果となりました。また、投資有価証券評価損の計上が51百万円(対前年同期比91.6%減、561百万円減)と少なく、四半期純利益は884百万円(対前年同期比4.4%減)となり、対前年同期比では少し下回りました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ3,336百万円減少の23,299百万円となりました。これは、売上債権が回収の進展によって2,287百万円減少したこと及び定期預金が912百万円減少したこと、さらに生産の減少傾向により棚卸資産が599百万円減少したこと等が、主な要因であります。

その一方、負債の部では、回収した資金を返済に充当したことにより短期借入金純額が1,700百万円減少し、生産の減少にともない仕入債務も1,058百万円減少しました。

純資産の部では、四半期純利益による利益剰余金の増加が884百万円あったものの配当金の支払等により、結果的に305百万円の増加となりました。

なお、当第3四半期累計期間のキャッシュ・フローのうち、営業活動によるキャッシュ・フローは、第3四半期税引前当期純利益が1,537百万円、売上債権の減少が2,287百万円、棚卸資産の減少が599百万円となり、仕入債務の1,058百万円減少や法人税等の支払1,212百万円などを差し引いても2,271百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、定期預金の解約が912百万円あったものの有価証券の取得や設備投資等により145百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、主として短期借入金の返済に1,700百万円、配当金に508百万円使用した結果、2,208百万円の支出となりました。

この結果、当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、1,089百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は、売上高、受注高とも減少傾向が明らかになり、特に当第3四半期会計期間では利益率の落ち込みも目立ってまいりました。これは売上高の減少につれて相対的に固定費の負担が大きくなったためと考えられ、国内外の海運・造船市況が中国など一部を除き低迷したままの現状を勘案すれば、値引き要請や価格競争の激化など厳しい受注環境が予想され、今後も受注の回復は期待しづらい状況となっております。

今回、上記の状況をふまえ平成22年1月12日公表の平成22年5月期の業績予想を下記のとおり変更いたします。

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	23,000	2,100	2,200	1,270	66円32銭
今回修正予想 (B)	22,000	1,800	1,850	1,035	54円05銭
増減額 (B - A)	△1,000	△300	△350	△235	—
増減率 (%)	△4.3	△14.3	△15.9	△18.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年5月期)	28,390	3,000	3,006	1,514	79円08銭

経済情勢は、ますます不透明な状況になってきておりますが、効率的な生産と原価低減に注力することにより年間計画の達成を目指す予定であります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

事業年度に係る減価償却費の額を按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

① 税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針18号 平成19年12月27日)を第1四半期会計期間より適用し、第1四半期会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

この変更による売上高及び損益に与える影響は僅少であります。

②不動産賃貸料の計上区分の変更

従来、不動産賃貸収入は売上高に計上し、対応する費用は販売費及び一般管理費に計上していましたが、金額の重要性が低いことに鑑み、第1四半期会計期間より、不動産賃貸収入より対応する費用を控除した残額を営業外収益の不動産賃貸料として計上する方法に変更しております。

この結果、当第3四半期累計期間において従来の方法によった場合に比べ、売上総利益は93,582千円減少し、営業利益は49,486千円減少しておりますが、経常利益以下に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,789,662	2,393,413
受取手形及び売掛金	10,227,980	12,515,647
有価証券	499,006	—
商品及び製品	796,137	1,161,721
仕掛品	1,337,355	1,443,304
原材料及び貯蔵品	1,607,727	1,735,533
その他	925,905	1,018,733
貸倒引当金	△52,820	△64,900
流動資産合計	17,130,954	20,203,453
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,549,166	1,549,166
その他(純額)	2,629,466	2,635,847
有形固定資産合計	4,178,632	4,185,013
無形固定資産		
投資その他の資産	261,766	312,713
投資有価証券	1,227,532	1,285,413
その他	507,314	656,046
貸倒引当金	△6,510	△6,668
投資その他の資産合計	1,728,337	1,934,791
固定資産合計	6,168,736	6,432,518
資産合計	23,299,691	26,635,971
負債の部		
流動負債		
支払手形	339,775	459,884
買掛金	2,395,888	3,333,994
短期借入金	300,000	2,000,000
賞与引当金	140,000	338,000
役員賞与引当金	10,250	28,520
未払法人税等	238,032	797,827
その他	443,966	475,013
流動負債合計	3,867,912	7,433,240
固定負債		
長期借入金	1,870,000	1,870,000
退職給付引当金	336,447	425,301
役員退職慰労引当金	66,710	73,980
その他	29,000	9,000
固定負債合計	2,302,157	2,378,281
負債合計	6,170,070	9,811,521

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,150,000	1,150,000
資本剰余金	1,479,586	1,479,586
利益剰余金	14,543,941	14,234,343
自己株式	△6,891	△6,877
株主資本合計	17,166,637	16,857,052
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△37,016	△32,602
評価・換算差額等合計	△37,016	△32,602
純資産合計	17,129,621	16,824,450
負債純資産合計	23,299,691	26,635,971

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)
売上高	20,841,213	17,149,865
売上原価	16,976,240	14,253,517
売上総利益	3,864,973	2,896,347
販売費及び一般管理費	1,649,334	1,382,264
営業利益	2,215,638	1,514,082
営業外収益		
受取利息及び配当金	53,178	37,869
不動産賃貸料	—	49,486
雑収入	9,191	14,537
営業外収益合計	62,370	101,893
営業外費用		
支払利息	23,748	21,331
為替差損	12,575	999
雑損失	20,140	17,358
営業外費用合計	56,464	39,689
経常利益	2,221,544	1,576,287
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	12,238
特別利益合計	—	12,238
特別損失		
投資有価証券評価損	613,092	51,353
特別損失合計	613,092	51,353
税引前四半期純利益	1,608,452	1,537,172
法人税等	683,405	653,085
四半期純利益	925,047	884,087

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,608,452	1,537,172
減価償却費	310,183	361,364
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,940	△12,238
賞与引当金の増減額(△は減少)	△145,000	△198,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,150	29,350
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△114,587	△88,853
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△21,770	△7,270
受取利息及び受取配当金	△53,178	△37,869
支払利息	23,748	21,331
有形固定資産除却損	18,784	16,159
有形固定資産売却損益(△は益)	26	—
投資有価証券評価損益(△は益)	613,092	51,353
売上債権の増減額(△は増加)	△1,089,142	2,287,667
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,083,776	599,339
前渡金の増減額(△は増加)	9,000	9,000
仕入債務の増減額(△は減少)	△332,163	△1,058,214
その他	18,004	△47,357
小計	△249,534	3,462,933
利息及び配当金の受取額	52,643	36,412
利息の支払額	△20,401	△14,637
法人税等の支払額	△798,040	△1,212,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,015,333	2,271,828
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△7,000	912,000
投資有価証券の取得による支出	△450	△450
有価証券の取得による支出	—	△498,013
有形及び無形固定資産の取得による支出	△941,713	△320,196
有形固定資産の売却による収入	0	—
敷金及び保証金の差入による支出	△12,090	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	840
その他	△1,415	50,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	△962,667	145,098
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,600,000	300,000
短期借入金の返済による支出	—	△2,000,000
配当金の支払額	△507,348	△508,664
自己株式の取得による支出	△665	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,091,986	△2,208,678
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	113,984	208,249
現金及び現金同等物の期首残高	1,125,554	881,413
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,239,538	1,089,662

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

(単位 千円)

期 別	21年5月期第3四半期 (20/6~21/2)		22年5月期第3四半期 (21/6~22/2)		21年5月期 (20/6~21/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	7,065,491	33.5	5,797,076	35.1	9,481,358	33.4
バタフライ弁	7,634,596	36.2	5,548,237	33.6	10,390,475	36.6
遠隔操作装置	6,399,438	30.3	5,174,505	31.3	8,506,367	30.0
合 計	21,099,525	100.0	16,519,818	100.0	28,378,200	100.0

2. 受注状況

受注高

(単位 千円)

期 別	21年5月期第3四半期 (20/6~21/2)		22年5月期第3四半期 (21/6~22/2)		21年5月期 (20/6~21/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	6,753,679	37.0	5,168,628	37.9	8,870,791	37.8
バタフライ弁	6,198,153	34.0	4,464,024	32.8	7,867,486	33.5
遠隔操作装置	5,298,266	29.0	3,992,857	29.3	6,750,539	28.7
合 計	18,250,098	100.0	13,625,509	100.0	23,488,816	100.0

受注残高

(単位 千円)

期 別	21年5月期第3四半期 (21/2)		22年5月期第3四半期 (22/2)		21年5月期 (21/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	5,943,379	23.8	4,718,964	24.6	5,569,939	24.5
バタフライ弁	10,182,434	40.7	7,718,537	40.3	9,016,868	39.7
遠隔操作装置	8,849,310	35.5	6,733,120	35.1	8,108,170	35.8
合 計	24,975,123	100.0	19,170,621	100.0	22,694,977	100.0

3. 販売実績

(単位 千円)

期 別	21年5月期第3四半期 (20/6~21/2)		22年5月期第3四半期 (21/6~22/2)		21年5月期 (20/6~21/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	6,950,815	33.4	6,019,603	35.1	9,441,367	33.3
バタフライ弁	7,511,030	36.0	5,762,355	33.6	10,345,929	36.4
遠隔操作装置	6,286,856	30.2	5,367,907	31.3	8,480,269	29.9
不動産賃貸収入	92,512	0.4	—	—	123,350	0.4
合 計	20,841,213	100.0	17,149,865	100.0	28,390,915	100.0
うち輸出高	4,770,551	22.9	3,491,607	20.4	6,497,830	22.9